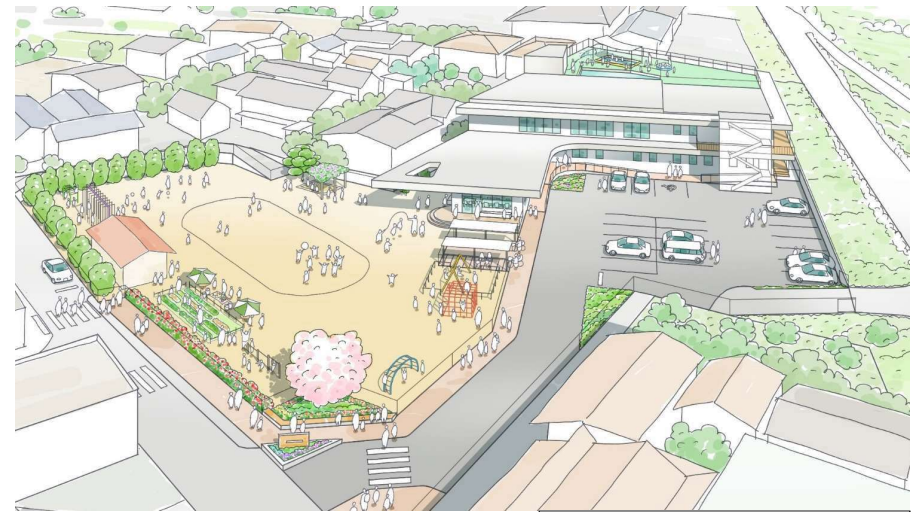




配置兼平面図



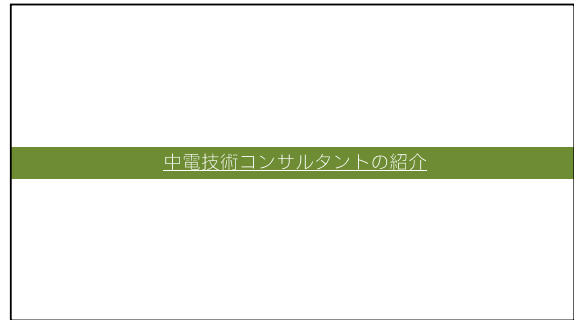
敷地北側から園舎・園庭を望む



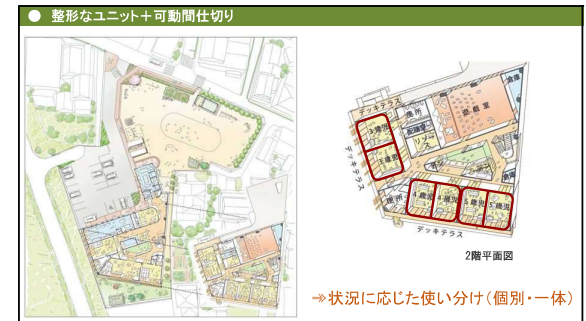
敷地南側から園舎・未満児専用園庭を望む

※本資料は現段階での計画案であるため、内容は今後変更する可能性があります。

●地域・保護者の皆さま用







● 園舎北側の一部を平屋化



明るさが確保された北向き園庭



園庭の日影検証



○を至  
GL±0における等時間日影図(基準法:GL+4m)

⇒園庭の明るさを確保

● 選択的で多様な居場所をつくる



ふれあいテラス



デン



図書コーナー



エディブルガーデン



大きな開口部により園庭とつながりやすい



敷地出入口に配置したエディブルガーデン



玉川保育園



まつやま大宮保育園



⇒主体的な行動から社会性が育まれる

● ロの字型平面の園舎




⇒自由に動き回れる回遊動線ができる

● こどもの目線に合わせた開口部



デン



光景変わリイメー

⇒立体的な視線のつながりが生まれる  
遊びの気配を感じ取りやすい

● 大きさや位置がランダムな開口部




デン




光景変わリイメー

⇒ワクワク感を誘発し、行動意欲を喚起

● カラフルな色彩や多様なかたち




デン



光景変わリイメー

階ホールイメー



里山景観を取り込む遊戯室

⇒こどもの五感に働きかける

● 地域の原風景を身近に感じる空間



光景変わリイメー



⇒風土への理解や愛着が形成される

● 自然の感触を感じる空間



自然素材を多用した空間をつくる



⇒こどもの感性が育まれる

● リソースルーム



リソースルーム【酒屋保育園】



⇒個別配慮が必要なこどもの  
一時的な居場所をつくる  
インクルーシブな保育施設を実現  
(※「みんなのいっしょに」という意味)

● デン ⇒ (リソーススペースへの変容)

⇒ 子どもの気持ちを整理する居場所

● 「東光のネウボラ」(相談室)

⇒ 保護者の孤立感や育児の不安感を和らげる

● 案内サイン と シンボルツリー

⇒ 一時的な利用者でもわかりやすい「顔(アイキャッチ)」のある施設

● 一時保育室は主出入口に隣接

⇒ 保護者の送迎の負担を軽減

● 北側道路に広く面した園庭

⇒ 子どもの賑わいがまちの風景となる  
子どもと地域がつながりやすい

● 交差点からの見通しを確保

⇒ 保小連携が高まる、一体感のあるまち

● ストリートファニーチャー

⇒ 子どもと地域がつながりやすい

駐車場計画 (周辺道路の渋滞解消について)

駐車場計画 (周辺道路の渋滞解消について)

渋滞発生の原因分析

- ① 交通量が多い
- ② 道路幅員が狭く見通しが悪い
- ③ 駐車場が狭隘
- ④ 車両出入口が交差点の奥に位置

⇒ 複合的な要因により渋滞が発生

駐車場計画（周辺道路の渋滞解消について）

① 渋滞を緩和する出入口と車路の引き込み  
 車両の出入口を交差点の手前に  
 ⇒一時停止する車両の数を削減



駐車場計画（周辺道路の渋滞解消について）

① 渋滞を緩和する出入口と車路の引き込み  
 駐車場までの控えスペース（車路）  
 ⇒道路への車両の停留を防止



駐車場計画（周辺道路の渋滞解消について）

① 渋滞を緩和する出入口と車路の引き込み  
 駐車場は一方通行の運用に  
 ⇒円滑な交通計画と安全性を確保



駐車場計画（周辺道路の渋滞解消について）

② 利用者を広く向かい入れるコンパクトな駐車場  
 駐車場は1か所に集約  
 ⇒空車状況が把握しやすい

空車状況を一目で把握



駐車場計画（周辺道路の渋滞解消について）

② 利用者を広く向かい入れるコンパクトな駐車場  
 駐車場を囲うキャノピー  
 ⇒雨天時にいち早く濡れない場所へ

利用者を広く向かい入れるキャノピー



防災計画（洪水浸水想定区域における取り組みについて）

防災計画（洪水浸水想定区域における取り組みについて）

■災害時の時間的特性を考慮した2階建て案

最大浸水高さ：1.5m  
 浸水継続時間：6時間  
 降り始めから浸水発生まで  
 1日程度の時間的特性

破提点  
 居間



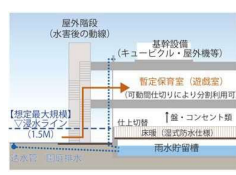
出典：地点別浸水シミュレーション

人命確保を大前提とした、浸水を防ぐ「事前対策」と  
 早期復旧を後押しする「事後対策」を組合せた2階建て囲舎

防災計画（洪水浸水想定区域における取り組みについて）

■災害時の時間的特性を考慮した2階建て案

① 日常の利便性と非常時対応の円滑化  
 鉄筋コンクリート造の採用  
 ⇒水密性が高い  
 漂流物に対する耐久性が高い



防災計画（洪水浸水想定区域における取り組みについて）

■災害時の時間的特性を考慮した2階建て案

① 日常の利便性と非常時対応の円滑化  
 腰壁（1m）＋高基礎（60cm）  
 ⇒保育所と園庭のつながりを維持  
 通いやすく日常の利便性が高い



防災計画（洪水浸水想定区域における取り組みについて）

■災害時の時間的特性を考慮した2階建て案

— ① 日常の利便性と非常時対応の円滑化 —

**防水板と防水扉の設置**

→施設内の漏水を最小限に抑える  
女性一人でも1・2分で設置可能

○階段等の垂直動線  
（分散配置）

△防水板・防水扉設置部分

軽量のアルミ材のため、女性でも数分で簡単に設置することが可能です。

止水板の例

防災計画（洪水浸水想定区域における取り組みについて）

■災害時の時間的特性を考慮した2階建て案

— ② BCP対策を実現するレジリエント建築 —

**遊戯室を2階に配置**

→大人数の垂直避難が可能

【想定最大規模】  
浸水ライン  
（1.5M）

防災計画（洪水浸水想定区域における取り組みについて）

■災害時の時間的特性を考慮した2階建て案

— ② BCP対策を実現するレジリエント建築 —

**基礎設備を浸水高さより上に配置**

→災害復旧の早期化を実現

【想定最大規模】  
浸水ライン  
（1.5M）

